

ふうわり ～ゆるやかな距離感を共有するカフェ～

ある日、彼とふたりで訪れたカフェ。

なんだか居心地がよくて、会話がはずむ。

彼の吸うたばこの煙を目で追っていたら、まわりに気が付く。

ゆったりと本を読んでいる人、おいしそうにたばこをくゆらしている人、おしゃべりしている人。

むこうがわからは、にぎやかな笑い声だけが聞こえてくる。

彼の横顔もいつもよりおだやか。

みんなでいながら、それぞれ楽しい。



見えないけど、つながってる

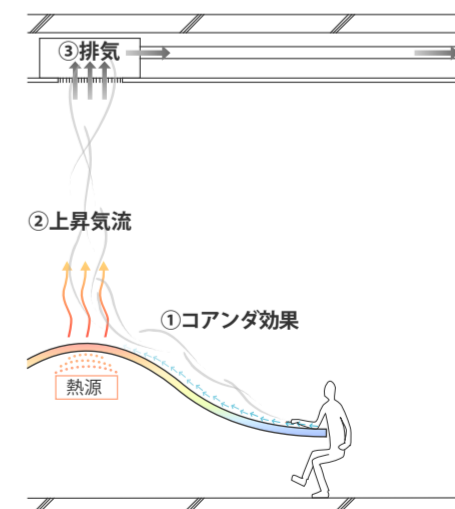
このカフェには、中央がゆるやかに膨らんだ大きなテーブルがひとつあります。むこうがわは見えないけれど、テーブルのなだらかな起伏は、その先へとつながっていて、その気配を感じることができます。

気にならないけど、そこにいる

大きなテーブルはまるい形をしていて、人々は適度な間隔を保ちながら、テーブルを囲んでいます。テーブルにつくと前にやわらかい曲面があり、ゆったりと自分の時間を過ごせます。視線を少しずらしてみると、そこにはそれぞれ思い思いに過ごしている人々がいて、自分が「カフェ」にいることを感じることができます。

向き合わないけど、傍にいる

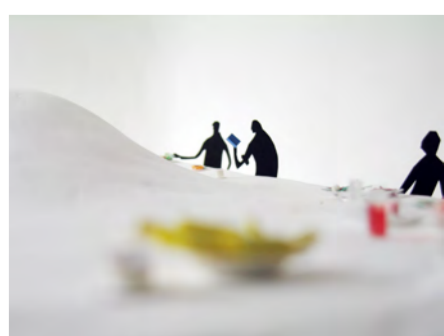
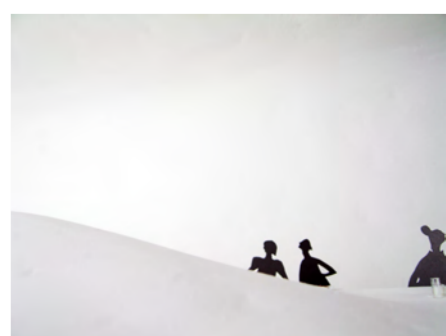
大きなテーブルはゆるやかな円を描いていて、ならんで座った人々の間に親密な距離感が生まれます。向き合うことなく傍に座ることで、お互いが相手との距離をその都度伸び縮みさせながら、より自由なコミュニケーションを楽しむことができます。



煙はテーブルをのぼっていく

テーブルをなぞる空気の流れによって、煙は人のいないテーブル上方へのぼっていき、喫煙者と非喫煙者が隣同士で居ても、お互い居心地のよい時間を過ごすことができます。

①テーブルの縁からその起伏をなぞるように気流を吹出し、コアンダ効果で煙をのぼらせます。
②テーブル中央部を熱することで上昇気流を生み出し、その気流に煙をのせます。
③天井に設けられた吸込み口へと流れ、排気します。



みんなで、「カフェ」 思い思いに自分の時間を楽しむことができ、同時にその自由な気持ちや時間をみんなで共有できる空間が「カフェ」だと考えます。私たちが提案するテーブルは、それぞれがゆるやかな距離感を共有できる「ふうわり」としたひとつのおおらかな空気感をつくりだし、この場を「カフェ」としています。